



## 2024年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日

上場会社名 株式会社GRCS 上場取引所 東  
コード番号 9250 URL <https://www.grcs.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 慈和  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 田中 郁恵 TEL 03 (6272) 9191  
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年11月期第2四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	1,616	18.3	30	—	17	—	2	—
2023年11月期第2四半期	1,366	—	△125	—	△131	—	△160	—

(注) 包括利益 2024年11月期第2四半期 2百万円 (—%) 2023年11月期第2四半期 △156百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第2四半期	2.18	—
2023年11月期第2四半期	△125.44	—

(注) 1. 当社は、2022年11月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 2023年11月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。2024年11月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第2四半期	1,698	291	16.6
2023年11月期	1,434	218	12.1

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 282百万円 2023年11月期 172百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—
2024年11月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,315	19.1	53	—	34	—	17	—	13.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期2Q	1,380,130株	2023年11月期	1,314,130株
② 期末自己株式数	2024年11月期2Q	29,800株	2023年11月期	29,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期2Q	1,295,330株	2023年11月期2Q	1,280,073株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年7月12日（金）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果により景気は緩やかに回復しております。しかしながら、世界的な金融引き締めに伴う中国経済の先行き懸念、物価の高騰や金融資本市場の変動等の影響に注意が必要な状況であります。

当社グループが属する事業環境においては、サプライチェーンマネジメントの整備やESG投資・SDGs推進を考慮したリスクマネジメントへの取組みが進む等、GRC及びセキュリティ領域への対応に関心が高まる状況となりました。

このような環境の中、当社グループは、持続的な企業成長を支えていくため「進化に、加速を。」をミッション、「世の中を、テクノロジーでシンプルに。」をビジョンに掲げ、複雑に変化し続ける世の中で直面する多種多様なリスクへ敏感に迅速に対処するために常に新しいことに挑戦し、進化し続け社会的価値の向上に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、GRCセキュリティ事業では、外部委託管理が重要視されている保険業界へ外部委託先リスクマネジメント支援ツール「Supplier Risk MT」を導入し、委託先管理業務の効率化を支援いたしました。生成AIの活用促進と導入によるリスクの最小化等をサポートする「生成AIセキュリティリスクマネジメント支援サービス」、AIによる自動ペネトレーション（侵入）テストツールの提供を開始し、複数の問い合わせを受けております。また、岩手県盛岡市で「地域活性化企業人」に着任し、地方行政におけるDXならびにセキュリティ対策の推進を支援してまいりました。フィナンシャルテクノロジー事業では、売切り型ライセンスを販売し売上高及び利益が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,616,210千円（前年同期比18.3%増）、売上総利益571,017千円（同65.5%増）、営業利益30,865千円（前年同期は営業損失125,937千円）、経常利益17,868千円（前年同期は経常損失131,002千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,823千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失160,578千円）となりました。

なお、当社グループはGRCソリューション事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ264,306千円増加し1,698,736千円となりました。

売切り型ライセンスを販売したことに伴い、売掛金及び契約資産が85,578千円増加いたしました。また、前連結会計年度に実施したフィナンシャルテクノロジーの事業譲渡に関して、取得対価に含めていなかった400,000千円のうち200,000千円の支払条件が充足され、のれんの計上等により無形固定資産が140,272千円増加いたしました。

これらが主な要因となり、資産合計が増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ190,845千円増加し1,407,156千円となりました。

売上高増加に伴うプロダクトのライセンス料等の契約負債が119,246千円増加、従業員へのインセンティブとして賞与引当金が45,953千円増加いたしました。

これらが主な要因となり、負債合計が増加いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ73,461千円増加し291,579千円となりました。

第三者割当増資を行ったことにより、資本金が59,994千円増加、資本準備金が59,928千円増加、連結子会社株式の追加取得を行い株式会社バリュレイトが完全子会社化したことに伴い、非支配株主持分が45,213千円減少したことによるものであります。

これらが主な要因となり、純資産合計が増加いたしました。

以上の結果、自己資本比率は16.6%（前連結会計年度末12.1%）となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、608,029千円となり、前連結会計年度末残高に比べ3,429千円減少いたしました。なお、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は195,193千円(前年同期は118,390千円の支出)となりました。

資金の主な増加要因は、プロダクトの販売によるサブスクリプション収入の契約負債の増加額119,246千円、フィナンシャルテクノロジーの事業譲受によるのれん償却額59,783千円、税金等調整前四半期純利益17,868千円であります。

資金の主な減少要因は、売切り型ライセンスを販売したことに伴う売上債権の増加額85,578千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は209,701千円(前年同期は156,464千円の支出)となりました。

これは主に、フィナンシャルテクノロジーの事業譲受による支出200,000千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は12,032千円(前年同期は190,765千円の収入)となりました。

これは主に、事業譲受対価やM&A等に柔軟に対応することを目的とした第三者割当増資を行い、株式の発行による収入114,332千円、資金効率を高めることを目的とした借換を行い、長期借入れによる収入150,000千円、短期借入金の純減額100,000千円であります。加えて、約定返済となる長期借入金の返済による支出85,582千円、連結子会社株式の追加取得を行い、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出58,800千円によるものであります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期の連結業績予想については、2024年1月12日に「2023年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	611,459	608,029
売掛金及び契約資産	339,090	424,669
仕掛品	1,737	3,801
前渡金	59,410	108,116
前払費用	51,295	39,009
その他	5,721	1,423
流動資産合計	1,068,715	1,185,049
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	61,492	57,089
工具、器具及び備品(純額)	4,517	8,517
有形固定資産合計	66,009	65,606
無形固定資産		
ソフトウェア	13,331	11,477
ソフトウェア仮勘定	—	1,909
のれん	246,020	386,236
無形固定資産合計	259,351	399,624
投資その他の資産		
長期前払費用	990	825
繰延税金資産	—	5,947
差入保証金	37,155	38,379
その他	250	1,750
投資その他の資産合計	38,395	46,902
固定資産合計	363,756	512,133
繰延資産		
社債発行費	1,957	1,552
繰延資産合計	1,957	1,552
資産合計	1,434,430	1,698,736

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	84,708	87,644
短期借入金	100,000	—
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	154,476	184,524
未払費用	187,172	198,773
未払法人税等	4,697	29,415
未払消費税等	24,507	57,224
契約負債	116,895	236,142
預り金	9,461	9,138
賞与引当金	748	46,701
流動負債合計	702,668	869,564
固定負債		
社債	70,000	60,000
長期借入金	321,899	356,269
繰延税金負債	4,158	3,724
資産除去債務	17,586	17,598
長期未払金	100,000	100,000
固定負債合計	513,643	537,591
負債合計	1,216,311	1,407,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	303,530	363,524
資本剰余金	267,999	314,340
利益剰余金	△298,910	△296,087
自己株式	△99,713	△99,713
株主資本合計	172,905	282,064
新株予約権	—	9,515
非支配株主持分	45,213	—
純資産合計	218,118	291,579
負債純資産合計	1,434,430	1,698,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	1,366,361	1,616,210
売上原価	1,021,333	1,045,193
売上総利益	345,028	571,017
販売費及び一般管理費	470,966	540,152
営業利益又は営業損失(△)	△125,937	30,865
営業外収益		
受取利息	4	2
受取賃貸料	727	—
受取手数料	227	181
その他	155	15
営業外収益合計	1,114	200
営業外費用		
支払利息	3,752	3,427
株式交付費	—	5,589
為替差損	2,184	3,373
その他	242	807
営業外費用合計	6,179	13,197
経常利益又は経常損失(△)	△131,002	17,868
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△131,002	17,868
法人税、住民税及び事業税	6,462	21,427
法人税等調整額	19,259	△6,382
法人税等合計	25,721	15,045
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△156,724	2,823
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,854	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160,578	2,823

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△156,724	2,823
四半期包括利益	△156,724	2,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△160,578	2,823
非支配株主に係る四半期包括利益	3,854	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△131,002	17,868
減価償却費	5,704	7,324
のれん償却額	14,880	59,783
株式報酬費用	—	7,330
受取利息	△4	△2
支払利息	3,834	3,509
株式交付費	—	5,589
為替差損益(△は益)	△2	953
売上債権の増減額(△は増加)	102,648	△85,578
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,451	△2,064
仕入債務の増減額(△は減少)	△47,180	2,936
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,105	45,953
契約負債の増減額(△は減少)	55,456	119,246
前渡金の増減額(△は増加)	△67,926	△48,706
未払費用の増減額(△は減少)	△16,970	11,616
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,179	32,716
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	531	4,160
その他の資産の増減額(△は増加)	△20,770	14,039
その他の負債の増減額(△は減少)	892	△323
その他	70	519
小計	△111,363	196,872
利息の受取額	4	2
利息の支払額	△3,323	△3,486
法人税等の支払額	△13,060	△868
法人税等の還付額	9,352	2,673
営業活動によるキャッシュ・フロー	△118,390	195,193
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,358	△5,068
無形固定資産の取得による支出	—	△1,909
資産除去債務の履行による支出	△5,700	—
事業譲受による支出	△150,000	△200,000
差入保証金の差入による支出	△7,848	△1,224
差入保証金の回収による収入	13,692	—
その他	△250	△1,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,464	△209,701
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	74,998	△100,000
長期借入れによる収入	100,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△82,242	△85,582
社債の発行による収入	97,569	—
社債の償還による支出	—	△10,000
株式の発行による収入	—	114,332
新株予約権の行使による株式の発行による収入	440	—
新株予約権の発行による収入	—	2,082
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△58,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	190,765	12,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△953
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△84,086	△3,429
現金及び現金同等物の期首残高	847,454	611,459
現金及び現金同等物の四半期末残高	763,367	608,029

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月13日付で、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が59,994千円、資本準備金が59,928千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が363,524千円、資本準備金が313,458千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、GRCソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。